

調査研究資料 No.105
1997



在宅学習システムに関する現状調査

雇用促進事業団

職業能力開発大学校研修研究センター

目 次

第1章 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の内容	1
1-3 主な調査項目	2
第2章 調査結果	3
2-1 調査結果の概要	3
2-1-1 調査結果の骨子	3
2-1-2 有効サンプルの属性	5
(1) ニフティサーブ・ユーザーのプロフィール	5
(2) オンライン調査・郵送調査別のサンプル属性	6
2-2 想定した在宅学習システムに対する評価	1 1
2-2-1 在宅学習システムの有効性	1 1
2-2-2 在宅学習システムの役立つ理由	2 2
2-2-3 在宅学習システムに対して有効性を感じない理由	2 7
2-2-4 在宅学習システムを利用して学習したい分野・内容	4 0
2-3 在宅学習システムの構築に向けた学習環境、条件等	4 3
2-3-1 マルチメディアパソコンの所有状況	4 3
2-3-2 パソコン等のOA機器の操作習熟度	4 7
2-3-3 本システムによる1日の学習時間とその時間帯	5 2
2-3-4 学習場所に関する要望	6 0
2-3-5 本システムに対する初期投資額	6 4
2-3-6 通信費・受講費等の月額費用	6 9
2-3-7 ネットワークに関する要望	7 5
2-3-8 教材に関する要望	7 8
2-3-9 面接指導（スクーリング）に関する要望	8 3
2-3-10 国等への要望	8 9

2-4	能力開発 (o f f - J T) の実施状況	94
2-4-1	能力開発経験の有無	94
2-4-2	受講した講座等の方式	97
2-4-3	受講した講座等のの内容	99
2-4-4	講座等に期待した効果	102
2-5	自己啓発の実施状況	105
2-5-1	自己啓発経験の有無	105
2-5-2	受講した講座等の方式	108
2-5-3	受講した講座等のの内容	111
2-5-4	講座等に期待した効果	115
添付資料		117
アンケート調査票		119

2-4-3の改訂内容
2-5-3